

いにしえ
古の雛を訪ねて
ひがしね路

フルーツ de スイーツ

ゆうそくびな
安部家所蔵の有職雛

一般社団法人東根市観光物産協会報

たぁんと
さくらんぼ

2017 February

Vol.62

さくらんぼ東根温泉 雛膳料理

果樹王国ひがしねフォトコンテスト2016入賞結果

果樹王国ひがしねフォトコンテストのテーマである「私の大好きな自慢のひがしね、すべての人に伝えたい」を十分に引き出す、魅力あふれる果樹王国ひがしねに関する写真を広く募集し、入賞作品が決定しました。

おめでとう
ございます!!



「煌めく刻」
自然部門 最優秀賞
大江 清見さん (天童市)

【自然部門】

優秀賞 増川 満さん (河北町)
入選 山口 恒弥さん (東根市)
入選 安達 弘志さん (東根市)
特別賞 板垣 重善さん (村山市)

【果物・特産品部門】

優秀賞 桜井 均さん (山形市)
入選 飯淵 良平さん (仙台市)
入選 安達 弘志さん (東根市)
特別賞 竹内 正和さん (東根市)



「リンゴのもぎ取り初体験」
果物・特産品部門 最優秀賞
青木 勉さん (東根市)

ひがしね
まちがい探し

この2つの絵には5つの間違いがあります。全部見つけられた正解者の中から抽選で10名様に粗品をプレゼント!!

※答えと住所、氏名、電話番号をご記入の上、2月20日まで当協会にハガキにてご応募下さい。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。



山形県村山地域の観光案内ポータルサイト
タウンフィード
townfeed
YAMAGATA
観光情報を
検索できるよ!



山形県村山地域の観光案内ポータルサイト「townfeed YAMAGATA」では村山地域の飲食店や見どころなど、またイベントやお祭り情報などを検索することができ、登録団体のソーシャルネットワークサービスの最新情報をチェックすることができます!!東根市も観光情報いっぱいアップしてるよ!

お申し込み・お問い合わせ先

一般社団法人東根市観光物産協会

〒999-3720 山形県東根市さくらんぼ駅前一丁目1-1

TEL 0237-41-1200

http://www.higashine.com E-mail info@higashine.com

協会員
大募集



たぁんとさくらんぼ Vol.62
2017年2月1日

発行元 一般社団法人東根市観光物産協会
企画・制作 共栄印刷株式会社
〒996-0025 山形県新庄市若葉町13-62
TEL 0233-22-6516 代 FAX 0233-23-3969
ホームページ http://www.kyoeiprinting.com
メール info@kyoeiprinting.com





佐藤錦プレミアムセット



スツール

さくらんぼ東根温泉 1泊ご招待券と
季節のフルーツ狩り

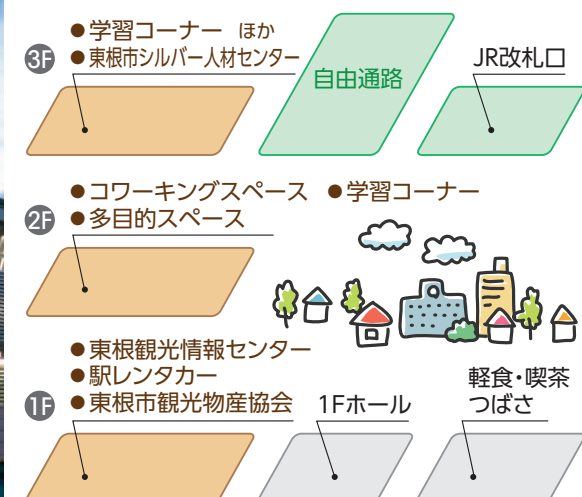
観光情報発信の拠点

東根市さくらんぼタント館
(JRさくらんぼ東根駅合築施設)

リニューアルオープン!!



東根観光の拠点がリニューアルオープン。これまで、3Fにあった東根観光情報センターが、1月25日より1Fに移転いたしました。これに伴い、本市の観光物産情報はもちろん、近隣市町の観光情報の発信も加え、より広域的な観光情報をお伝えいたします。また、無料Wi-Fi環境も充実し、インバウンドに対応した観光情報センターとして整備して参ります。ぜひお立ち寄りください。



ふるさと納税制度で東根の魅力を発信!!

全国的にも話題となっている「ふるさと納税制度」。ふるさと納税制度とは、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設され、本市においては、頂いた寄付金は、さくらんぼPR事業や環境保全事業、教育環境等整備事業などの13の事業に活用されております。

そんな中、近年は寄付頂いた方に対する返礼品の魅力度がクロースアップされ、各自治体間で様々な取り組みがされております。

本協会でも本市の特産品等のPRと消費拡大を目的に、様々な返礼品の取扱いをおこなっております。特にニーズが高いのは、果物、肉、米となっておりますが、その他にも魅力的な返礼品がたくさんありますので、ここで少し紹介いたします。

親戚や知人、友人へひがしねの魅力を発信しましょう。



どっこん水の恵みセット



味付玉子 スグ卵



伝統的生麴セット



山形のそば三昧



果肉たっぷり果樹園の手作りジャム



東根逸品詰め合わせ



山形の漬物と地酒の晩酌セット

産業観光で
地域に活力

2017. FEBRUARY

「A液にB液を均一になるまでかき混ぜてください。そしてC液を加え、同じようによくかき混ぜ、それを70℃に温めて、D液を加え、またよくかき混ぜてください。その後、60℃まで冷却したらE液を加え、よくかき混ぜ、さらに35度まで冷却してください。ピーカーに取り出し、好みの香料を加えて完成です。」

これは、市内の工場見学で「ロイヤル化粧品」が提供してくれる参加型インダストリアルツアーリズムで、世界に一つしかないシャンプーを作っているひとこまである。「リアルスコープ」や「シルシルミシル」、最近では「スゴイデスね案内人の会」が主催した「ウェルカムひがしね」に於いてもこのメニューを採用し大変好評であった。大森山の磨崖仏や龍泉寺マリア観音像、仏心寺の大仏などとともに、本市における企業活動の一端を理解していただくことができた。

地方創生の一つの方法としても注目を集め、経済産業省も助成金を出してバックアップしている分野である。自治体でもインバウンド対策としてインダストリアルツアーリズム促進事業補助金を交付するところも出てきている。

全国的には工業団地ぐるみで地域と一体となって、複数の工場を開放し、見学会などを実施しているところも多い。オープンファクトリーの取り組みは、単に加工の現場を見るだけでなく、体験したり、職工さん(専門技術者)と意見交換をしたり雇用確保や消費拡大につながる糸口をたくさん持っているものと言われている。

全国産業観光サミットでは、産業観光を「産業文化財、生産現場、製品等を資源として、人的交流を促進する観光活動」とであると定義づけている。人的交流が最も重要視されるが、その概念は現在も変化し、拡大しているため、定型化したシステムが作られにくいとも言われている。その分、地域に即した独自のスタイルが生まれやすいとも考えられる。

農工一体のまち「東根」には、産業設備・土木系インフラ、都市系インフラ、技術、技能、デザイン、ビジネスモデル等、まさにハードソフトともに産業観光の資源満載である。この産業観光を無料から有料へ移行するためには、その壁が高く課題も多いが、CSR活動から企業営利活動へと発展し、従業員のモチベーションアップやインバウンド戦略の一つとして、定期化および常態化し、企業の発展、地域の活性化のため、今後取り組みなければならぬ分野と考えている。

事務局長 本田 剛

